

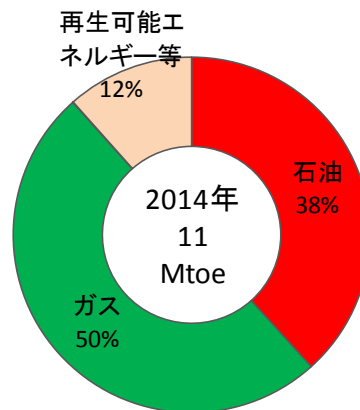
5-8 チュニジア

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2014年) : 11 百万 toe (日本の 0.02 倍)
- (2) 一人当たり一次エネルギー供給量 (2014年) : 0.96toe (日本の 0.28 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2014年) : 64%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 25.0 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 2.1%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 2.27 CO₂ 換算 ton (日本の 24.3%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2015 年末) : 原油 18.6 年

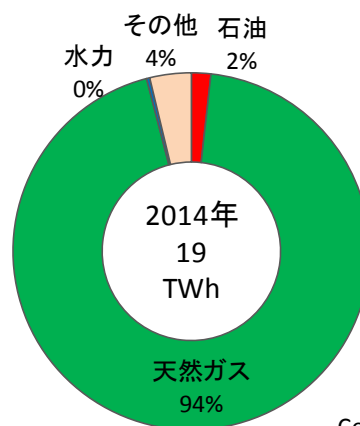
一次エネルギー供給構成 (2014年)



Country: Tunisia

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

発電電力量構成 (2014年)



Country: Tunisia

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- エネルギー行政は産業・エネルギー・鉱山省が所管し、大臣はHela Cheikhrouhou 氏(2016年8月就任)である。
- 省エネルギーおよび再生可能エネルギー政策は、産業省の元にある ANME が担う。
- 石油・天然ガスの探鉱・開発は、1972年に設立された国営 ETAP が担う。石油精製は国営 STIR が担う。電気事業(発送配電)と天然ガス供給は、1962 設立の国営 STEG が担う。

(2) 基本政策

- チュニジアは石油と天然ガスの産出国であるが、2000年に一次エネルギー供給の純輸入国となり、その後も需要の増加と生産の減少によって需給ギャップが拡大している。これを可能な限り抑制することが、重要な課題となっている。
- 2013年6月27日に国家エネルギー会議(Le débat national de l'énergie)の第1回会議が開催された。この会議体は、同国のエネルギーに係る2030年までの長期ビジョン策定を目的としている。同会議体での議論には次のものを含む。
 - 石油製品需要の増加と国内生産量の減少による需給ギャップ拡大
 - 石油製品輸入費用、補助金費用の財政負担拡大とエネルギー補助金の段階的廃止
 - 電力需要増加に応じた供給力確保、省エネと再生可能エネ利用拡大の必要性

(3) 最近の動向

- 2014年12月、選挙で当選した Béji Caïd Essebsi 氏が大統領に就任した。同氏は世俗派政党ニダチュニス(Nidaa Tounes)の党首で、元国会議長。権力の分散を目的に、大統領は主に国防と外交、首相は主に内政を担う。
- 2015年に起きたテロの影響で、2016年上半期の外国人旅行客数は前年比21.5%減少。
- 2016年7月、議会はHabib Essid首相の不信任決議を行い、可決するに至った。Essid首相は経済問題と失業問題、テロ対策への取組に失敗した責任を取ったかたち。
- 2016年8月、Essebsi大統領のもとで、Youssef Chahed(前地方問題相)が次期首相に任命された。Chahed次期首相は挙国一致内閣を目指して組閣作業を進め、人民議会により新内閣が承認され、第29期内閣が成立した。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)は2010年7月23日、チュニジア開発・国際協力省と産業技術省、STEGE(Tunisian Electricity and Gas Utility Energy Renewable)との間で太陽熱発電の共同プロジェクト実施で同意書(LOI)を締結した。
- 2015年度におけるわが国のチュニジアからの石油製品輸入はナフサが5.6万klで、わが国のナフサの全製品輸入量の0.2%を占めた。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Tunisia

(2014年)

(1) 一次エネルギー供給量		11 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		0.96 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.22 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		64 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量		25.0 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量		2.27 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	0 %
	石油	38 %
	天然ガス	38 %
	原子力	0 %
	水力	0 %
	再生可能エネルギー等	12 %
(8) エネルギーの輸入依存度		36 %
(9) 石油の輸入依存度		28 %
(10) 輸入原油の中東依存度		- %
(11) 原油の輸入先	第1位	-
	第2位	-
	第3位	-

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA